

第3回城端線・氷見線再構築検討会の開催結果

1. 日時 令和5年10月23日（水）18時30分から19時20分まで
2. 場所 富山県民会館8階バンケットホール
3. 出席委員
新田知事、角田市長、林市長、夏野市長、田中市長
JR西日本金沢支社漆原支社長、あいの風とやま鉄道日吉社長、
北陸信越運輸局笠原鉄道部長（オブザーバー）
4. 概要
 - (1) あいの風とやま鉄道が示した城端線・氷見線の経営を引き継ぐ場合の条件への対応について説明し、意見交換
 - (2) 再構築実施計画に、事業構造の変更の内容として、城端線・氷見線の事業主体について、JR西日本からあいの風とやま鉄道に変更することを盛り込むことを了承
 - (3) 利用者の利便の確保に関する事項について意見交換し、①車両のデザイン面の工夫、②朝夕ラッシュ時間帯の増便・増車、③パターンダイヤの検討、④各駅へのICカード対応改札機の設置、⑤直通化は移管前に検討して移管後に実施、について再構築実施計画に盛り込むことを了承
 - (4) 意見交換（主なもの）
 - ・ 県と沿線4市で必要な出資や経営安定の支援を行い、並行在来線経営安定基金については城端線・氷見線に充てないこととしたい。
 - ・ 経営移管前の本格的な再整備は、移管後の安全確保や維持管理費の負担も考慮し、再構築事業として実施するもの以外にもJRにおいて自ら移管前に整備してもらいたい。
 - ・ 運転士や施設、電気、車両など技術を有する要員の確保に協力したい。
 - ・ 現行の設備は、必要な修繕を実施して運行している。鉄道設備の機能向上が必要であれば、再構築実施計画に定める利用者の利便の確保に関する事項として実施・協力したい。
 - ・ 直通工事を実施する場合、JRの技術的なアドバイスや、人的な支援について協力したい。
 - ・ 経営を引き継ぐにあたり、あいの風とやま鉄道からの条件については基本的にご理解いただけたものと考えている。
 - ・ 車両は、城端線・氷見線が変わったという印象を一番受ける部分だと思うので、デザインの工夫を入れて欲しい。
 - ・ 運行本数の増加、車両の増結により、混雑の解消、緩和を図っていく必要がある。
 - ・ パターンダイヤのように利用者の方にわかりやすいダイヤの検討も必要である。
 - ・ ICカードは各駅に設置してもらいたい。
 - ・ 城端・富山間の直通列車2本は、同規模の定員で継続運行してもらいたい。